

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成31年2月12日
発信課 担当者	観光スポーツ交流部観光課 三宮元樹
連絡先	電話 0166-27-7168 FAX 0166-26-8585 E-mail kankou@city.asahikawa.hokkaido.jp

分類	<p><b>イベント・行事</b> 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)</p>												
日程	2月6日～2月11日												
発表項目 (行事名)	第60旭川冬まつりの開催結果について												
概要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>2月6日(水)から11日(月)にかけて、第60回旭川冬まつりが開催されたところですが、その結果について報道くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>1 観客動員数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第55回</th> <th>第56回</th> <th>第57回</th> <th>第58回</th> <th>第59回</th> <th>第60回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>876,000</td> <td>886,000</td> <td>937,000</td> <td>968,000</td> <td>976,000</td> <td>983,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 概況 今回の大雪像は、「60years ミュージアム～歴史を刻んだ大雪像参上～」とし、第1回冬まつりで制作した名古屋城と旧旭川借行社を組み合わせ、これまでの雪像をレリーフで表現し、60回の歴史を振り返るとともに、大雪像から滑る100mのすべり台や韓国・水原市との姉妹都市提携30周年を記念してデザインしたバルコニー雪像としました。 大雪像を背景にプロジェクションマッピングと花火の演出を毎日行ない、また、高校生による小雪像づくりを期間中に実施し制作の様子を来場者に見せるなどの新たな取組により、幅広い年代層が楽しめるよう話題性を高めたほか、多文化共生をテーマに、雪の壁にアイヌ文様を彫り込み熊笹で編み込んだ屋根で作った「雪のチセ」の展示や、雪の礼拝所とムスリムやベジタリアンなど多様な食文化を持つ方々に対応したフードダイバーシティ・ブースを設置しました。 冬まつり開催期間中と旧正月(春節)が重なり、旭川空港に国際チャーター便が就航したり、JR旭川駅構内の観光物産情報センターが外国人観光客で混雑するなど、多くの外国人観光客の来場がありました。 市内中心部のホテルでは、会期中の客室稼働率が95.6%となるなど、本イベントの実施により旭川のPR効果や冬季における滞在型観光の推進に大きく寄与しました。 一方で、会期前半は、低温と風雪による悪天候や公共交通機関の乱れなどの影響により来場者数が伸び悩みましたが、後半は天候が回復し観客動員数は、前回(第59回)より7千人増(0.7%増)の98万3千人となりました。</p>	第55回	第56回	第57回	第58回	第59回	第60回	876,000	886,000	937,000	968,000	976,000	983,000
第55回	第56回	第57回	第58回	第59回	第60回								
876,000	886,000	937,000	968,000	976,000	983,000								
備考													